産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書
記入手引き

〔　本報告の対象となる方　〕
和歌山県、和歌山市の許可をお持ちの
産業廃棄物の処分業者（中間処理業、最終処分業）及び
県が指定した産業廃棄物の収集運搬業者
（令和５年度に県内から県外への運搬実績のあった方）

１. 同封された書類について

以下の４点の書類が同封されています。確認してください。

（１）依頼文
（２）産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書
（３）産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書
　　記入手引き〔本書類〕
（４）返信用封筒

２. 作成・提出方法

報告書の作成（電子ファイルによる作成・提出が可能です。ご利用ください。）

同封された「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書」は、和歌山県及びエヌエス環境株式会社のホームページからダウンロードでき、電子メールによる提出もできます。なお、同封された報告書、調査票を用いて記入後、同封の返信封筒にて郵送又はファクシミリにて送信していただいても構いません。

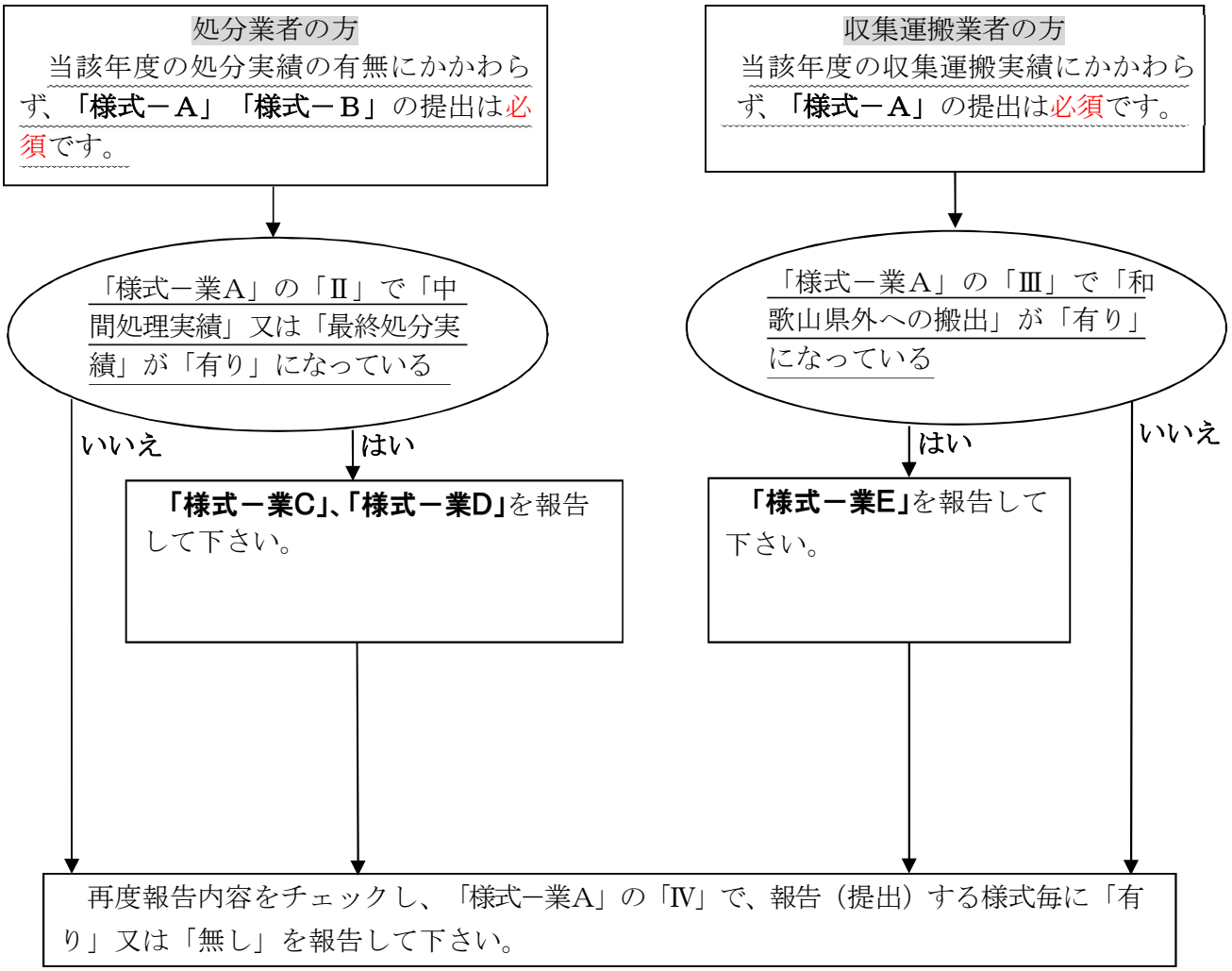
■報告書の電子ファイルの入手方法
〔和歌山県のホームページからのダウンロード〕
https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/jissekihoukoku/jisseki-houkoku.html
〔エヌエス環境株式会社のホームページからのダウンロード〕
https://nsk.works/MDEzOTgw

■報告書の電子メールによる提出方法
電子メール：wakayama.sanpai@ns-kankyo.co.jp
※件名には、「和歌山県報告書」と明記してください。

なお、郵送される方でも、報告書の枚数が多い場合は、できる限りＣＤ等、電子データでの提出をお願いします。
■ＦＡＸ番号：０６－６３１０－７５２９

３．報告書の記入の流れ

廃棄物の処分業（中間処理業、最終処分業）及び
産業廃棄物の収集運搬業の許可をお持ちの方へ



４．記入要領（実績報告書）

１．提出の対象者

和歌山県において、令和６年度に産業廃棄物の処分業の許可をお持ちの全ての方と県が指定した収集運搬業者の方（令和５年度に県内から県外への運搬実績のあった方）が対象です。

処理実績がない場合も、対象となります。

２．報告書の概略

提出していただく報告書の概略は、以下のとおりです。(許可及び実績状況により異なります。)

様式	提出条件	内容
業Ａ	すべての方	許可内容、実績有無など
業Ｂ	施設有り	保管状況、中間処理施設・最終処分場の設置状況（処分業）
業Ｃ	実績有り	中間処理施設、最終処分場における処分実績（処分業）
業Ｄ	実績有り	中間処理施設、最終処分場における処分実績（処分業）
業Ｅ	実績有り	和歌山県内から和歌山県外への運搬実績のある方（収集運搬業）

３．報告書の記入要項

● 様式－業Ａ

令和７年３月３１日現在における貴社の状況について記入して下さい。

Ⅰ　事業概要の表

1　報告書提出を行う業者名、事業所の内容について、項目に従って記入して下さい。
2　氏名又は名称、住所、代表者氏名及び電話番号は、現在のものを記入して下さい。
3　資本金は、千円単位で記入してください。
4　従業員数は、産業廃棄物処理業に係る事業場における従業員数（臨時職員等を含む）を記入して下さい。

Ⅱ　事業概要の表（処分業者用）

1　和歌山県（**和歌山市を含む**）内に中間処理施設、最終処分場を設置されている場合は、該当項目を記入して下さい。
2　許可の取得状況は、令和７年３月３１日現在で取得している許可の年月日及び許可番号を記入して下さい。
3　一般廃棄物処理業の許可の有無については、「１：有り」又は「０：無し」を選択し、 許可を有している場合は、許可を得ている市町村名及び許可の区分（収集運搬、中間処理、最終処分の別）を記入して下さい。
4　処理（管理）責任者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第８項に基づく産業廃棄物処理責任者を設置している場合はその氏名を、同法第１２条の２第８項に基づく特別管理産業廃棄物管理責任者を設置している場合はその氏名を記入して下さい。
5　処分実績及び保管実績は、必ず「１：有り」又は「０：無し」を選択して下さい。

Ⅲ　事業概要の表（収集運搬業用）

1　和歌山県（**和歌山市を含む**）で収集運搬業の許可をお持ちの場合は、該当項目を記入して下さい。

2　許可番号は、令和７年３月３１日現在で取得している許可番号を記入して下さい。

3　収集運搬実績及び和歌山県外への搬出実績は、必ず「１：有り」又は「０：無し」を選択して下さい。

記入者部課・氏名

この報告書の記入者の所属及び氏名を必ず記入して下さい。

Ⅳ　報告書チェック欄

様式－業Ｂ～業Ｅによる報告について、下記により「１：有り」又は「０：無し」を選択して下さい。

なお、該当様式に報告する実績がない場合は、必ず「０：無し」を選択して下さい。ただし、電子ファイルで提出される方は、提出不用となる様式のシートを削除する必要はありません。

業Ｂ－和歌山県（和歌山市を含む）内に中間処理施設又は最終処分場を設置されている処分業者の方

業Ｃ－設置する中間処理施設及び最終処分場において、令和６年度中の処分実績がある処分業者の方

業Ｄ－同上

業Ｅ－令和６年度に、和歌山県内から和歌山県外への運搬実績のある収集運搬業者の方

○　様式－業Ｂ

令和６年度における産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物に係る保管状況、中間処理施設の状況、最終処分場の状況を記入して下さい。

なお、電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式－業Ｂシートを追加して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、業Ｂシートをコピーしてお使い下さい。

（１）処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

1　当該年度内に、処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物がある場合、 該当項目を記入して下さい。

2　**産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。**

3　所在地は、実際の保管場所の市町村名を記入して下さい。**（市町村名まで）**

（２）中間処理施設の状況

１　当該年度に、和歌山県**（和歌山市を含む）**内に中間処理施設を設置されている場合は、該当項目を記入して下さい。
２　施設区分は、別添の施設区分表から施設区分コードを記入して下さい。
３　処理能力は、能力（規模）と単位と欄を分けて記入して下さい。なお、基数又は時間は、 備考欄に記入して下さい。
４　許可等の有無は、「１：有り」又は「０：無し」を選択して下さい。
５　技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第２１条第１項に基づく技術管理者を設置している場合、その氏名を記入して下さい。
６　当該年度内で、休止等により稼働実績がない場合は、備考欄に、「休止」等を記入して下さい。

（３）最終処分場の状況

１　当該年度に、和歌山県**（和歌山市を含む）**内に最終処分場を設置されている場合は、当該項目を記入して下さい。
２　処分場の種類は、「１：管理型」、「２：安定型」又は「３：遮断型」を選択して下さい。
３　許可の有無は、「１：有り」又は「０：無し」を選択して下さい。
４　令和６年度の埋め立て量は、覆土量を除いたものです。なお、覆土量は、当該年度の覆土量欄に記入して下さい。
５　自社発生物の埋立量とは、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の埋立量です。
６　委託による埋立量とは、業として受託した廃棄物であって、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物を除く埋立量です。
７　委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量とは、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さの埋立量です。
８　当該年度の残余容量とは、令和７年３月３１日時点の残余容量です。
９　算定残余容量とは、実測された残余容量です。「算定した年月日」欄に算定した年月日を記入して下さい。
10　技術管理者については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第２１条第１項に基づく技術管理者の氏名を記入して下さい。
11　当該年度内で、埋立実績がない場合は、備考欄に、「実績無し」と記入して下さい。

○　様式－業Ｃ

様式－業Ｂで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、記入して下さい。なお、処分実績がなかった場合は、記入不要です。

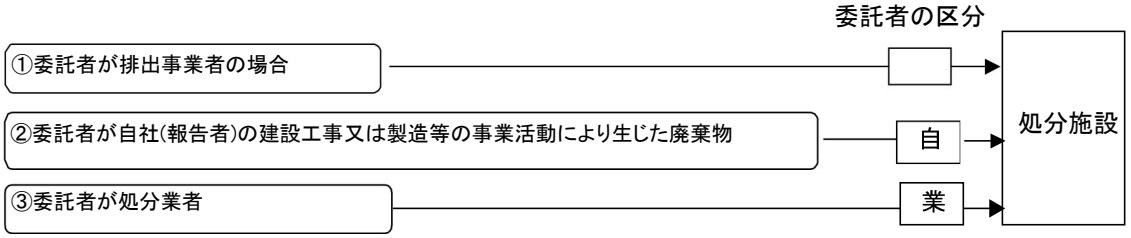
１　Ｃ１～Ｃ５欄を用いて、様式Ｂで報告した施設ごとに当該項目を記入して下さい。
２　施設番号は、様式Ｂで記載されたＢ２１～Ｂ２７、Ｂ９１～Ｂ９３の番号を記入して下さい。
３　自社の区分には、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物、 自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績がある場合のみ、該当欄に「自」と記入して下さい。
４　**産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記 入して下さい。**
５　「自社で再中間処理・再生・埋立」欄に記入した廃棄物のうち、自社の中間処理施設又は最終処分場で再処理を行った場合は、該当する産業廃棄物処理施設欄に再掲して下さい。

6　委託先所在地は、**和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入**して下さい。
7　電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートル（m^3）で報告される場合は、「m3」と半角英数字で記入して下さい。

○ 様式－業D

様式－業Ｃで報告した中間処理施設及び最終処分場の処分実績について、委託者（排出事業者又は処分業者）ごとに、処分実績を記入して下さい。

1　産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。
2　委託者の区分は、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の処分実績は「自」と記入して下さい。
また、委託者が処分業者の場合は、「業」と記入して下さい。
3　委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないで下さい。
委託者の区分欄は、処分した廃棄物が「自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物」又は「委託者が処分業者」の場合のみ記入して下さい。



4 委託者の住所は、本社の所在地ではなく委託者の事業所等の所在地又は建設工事等にあってはその現場の所在地を記入して下さい。**（和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入して下さい）**

5　移動式の処理施設で処分された場合の「処分場所」は、処分した市町村名の後に移動式であることの旨を記入して下さい。（例：○○市（移動式））
6　電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートル（m^3）で報告される場合は、「m3」、リットルで報告される場合は、「L」とそれぞれ半角英数字で記入して下さい。
7　電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式をコピーして記入して下さい。

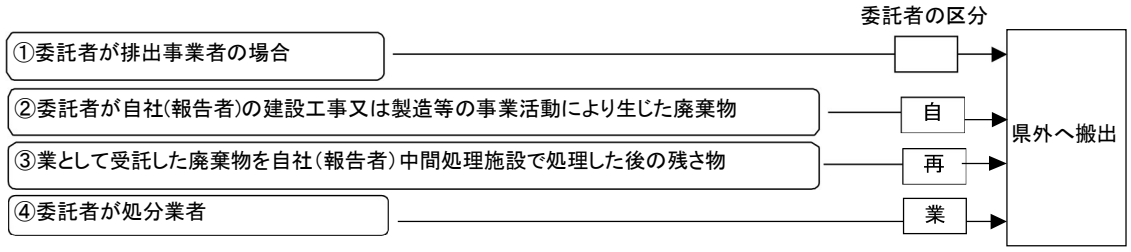
○ 様式－業Ｅ

収集運搬業であって、和歌山県内（**和歌山市を含む**）から和歌山県外への運搬実績のみ、委託者（排出事業者又は処分業者）ごとに運搬先及び運搬先の処理実績を記入して下さい。

1 **産業廃棄物の種類は、別紙の「産業廃棄物の分類表」の「分類名」と「コード」で記入して下さい。**

2 委託者の区分は、業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物の運搬実績は「再」、自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物の運搬実績は「自」と記入して下さい。
また、委託者が処分業者の場合は「業」と記入して下さい。

3 委託者が排出事業者の場合は、「委託者の区分」は記入しないで下さい。委託者の区分欄は、運搬した廃棄物が「業として受託した廃棄物を自社中間処理施設で処理した後の残さ物」、「自社の建設工事又は製造等の事業活動により生じた廃棄物」又は「委託者が処分業者」の場合のみ記入して下さい。



4 委託者の住所は、市町村名を記入して下さい。

5 運搬先の住所は、都道府県名、市町村名を記入して下さい。

6 電子ファイルで提出される方で、廃棄物量の単位を立方メートル（m^3）で報告される場合は、「m3」、リットルで報告される場合は、「L」をそれぞれ半角英数字で記入して下さい。

7 電子ファイルで提出される方で、記入欄が不足する場合は、15行目以降に行を追加し記入して下さい。郵送で提出される方で、記入欄が不足する場合は、様式をコピーして記入して下さい。

５．記入例

様式-業A

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬、処理・処分実績報告書

令和 7年 ○月 ○日

記　入　例

報告者の住所　和歌山県○○市××1－2

報告者のふりがな　まるまるしげんかぶしきがいしゃ

報告者の氏名　○○資源(株)

電 話 番 号　073－441－○○○○

令和6年度の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理・処分実績(運搬実績)について、次のとおり報告します。

Ⅰ　事業概要の表

業者名	氏名又は名称	○○資源(株)		
	住所	○○県××市1－2		
	代表者氏名	和歌　太郎		
	電話番号	000－000－0000	資本金	12345　千円
事業所	名称	○○資源(株)		
	所在地	○○県××市1－2		
	電話番号	000－000－0000	従業者数	1234　人
	事業内容	産業廃棄物の中間処理及びプラスチック製品製造		

Ⅱ　事業概要の表(処分業者用)

許可取得の状況	許可の区分	許可年月日	許可番号	
	産業廃棄物処分業	平成27年　1月　1日	03023456789	
	特別管理産業廃棄物処分業	平成27年　1月　2日	03071456789	
	和歌山県における一般廃棄物処理業の許可の有無	1:有り	有りの場合 市町村名(　×　×　市　) 許可の区分(　中　間　処　理　)	
処理(管理)責任者		産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	
		和歌　太郎	和歌　次郎	
'令和6年度の処分実績		中間処理実績の有無	最終処分実績の有無	
		1:有り	1:有り	
'令和6年度の保管状況(処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物)		保管実績の有無		
		1:有り		

Ⅲ　事業概要の表(収集運搬業用)

収集運搬業の許可取得の有無		許可番号		令和6年度の収集運搬実績の有無	
		産業廃棄物	特別管理産業廃棄物		うち和歌山県外への搬出
和歌山県	1:有り	03003456789	03050456789	1:有り	1:有り
和歌山市	1:有り	07203456789	07250456789	1:有り	1:有り

記入者部課・氏名	所属　○○管理部	氏名　和歌　次郎

Ⅳ:報告書チェック欄	業B	業C	業D	業E
報告する様式の有無	1:有り	1:有り	1:有り	1:有り

様式-業B

保管・中間処理・最終状況の概要表 － 中間処理・最終

記 入 例

令和６年度実績

業者名　〇〇資源㈱

(1)処分せずに保管している産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の状況

	産業廃棄物の種類※	所在地	保管量	番号	産業廃棄物の種類※	所在地	保管量
01	汚泥0210	××市	150 t	05			t
02			t	06			t
03			t	07			t
04			t	08			t
				00	合　計		150 t

有機性汚泥の場合
分類名：汚泥
コードNo. 0210

※「産業廃棄物の種類」に

てください。

(2)中間処理施設の状況

施設番号	処理施設の名称	処理施設の所在地	施設区分	処理能力	許可等の有無	技術管理者名	備考
B21	廃プラスチックの破砕施設	××市△△1-2	08	50 /日	1:有り	和歌 太郎	
B22	廃プラスチックの焼却施設	××市△△1-2	09	200 /日	1:有り	和歌 太郎	
B23	汚泥の脱水施設	××市△△1-2	01	200 /日	1:有り	和歌 太郎	
B24	がれき類の破砕施設(移動式)	××市△△1-2	11	300 /日	1:有り	和歌 太郎	
B25	汚泥の脱水施設	××市△△1-2	01	150 /日	1:有り	和歌 太郎	×2基
B26	廃プラスチックの焼却施設	××市△△1-2	09	70 /日	1:有り	和歌 太郎	(8時間)
B27				/日	1:有り 0:無し		

(3)最終処分場の状況

施設番号	B91	B92	B93
処分場の名称	〇〇第1処分場		
処分場の所在地	××群□□町1-1		
処分場の種類	1:管理型	1:管理型　2:安定型　3:遮断型	1:管理型　2:安定型　3:遮断型
許可等の有無	1:有り	1:有り　0:無し	1:有り　0:無し
設置許可等年月日	平成10年　1月　1日	年　月　日	年　月　日
処分場面積	20000 m^2	m^2	m^2
埋立地面積	12000 m^2	m^2	m^2
埋立容量	135000 m^3	m^3	m^3
令和6年度の埋立量の計	6610 t	0 t	0 t
自社発生物の埋立量	800 t	t	t
委託による直接埋立量	5800 t	t	t
委託廃棄物の自社中間処理後の埋立量	10 t	t	t
令和6年度の覆土量	800 m^3	m^3	m^3
令和6年度末の残余容量	35000 m^3	m^3	m^3
算定残余容量	37000 m^3	m^3	m^3
算定した年月日	令和6年　5月　2日	年　月　日	年　月　日
技術管理者名			
備考			

様式-業C

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処理施設における処分実績　－　中間処理・最終処分業　－

記 入 例

令和６年度実績

業者名　○○資源㈱

	産業廃棄物処理施設の種類 名称	施設番号(様式B)	処理欄	自社の区分	処理した種類と年間処理量 種類※	処理量	単位	処理後の廃棄物と量 処理後の種類※	処理量	単位	処理後の廃棄物の再生・処分状況 自社で再中間処理・再生・埋立 処理(処分)方法 ※再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	委託先 委託先名称	委託先所在地	方法・(用途) ※再生利用の場合は、具体的な用途	量	単位	備考
C1	廃プラスチックの破砕施設	B21	01		廃プラ0600	1,500	t	廃プラ0600	1,500	t	自社で焼却	500	t	○○資源	□□県○○市	燃料としてリサイクル	800	t	
			02											××興産	△△県○○郡×町	埋立	200	t	
			03								再掲								
			04																
			05																
C2	廃プラスチックの焼却施設	B22	06	自	廃プラ0600	500	t	燃え殻0112	300	t				××セメント	□□県○○市	セメント原料	100	t	
			07		廃プラ0600	2,000	t							××興産	△△県○○郡×町	埋立	200	t	
			08					ばいじん180	50	t	自社で埋立	10	t	××セメント	□□県○○市	セメント原料	40	t	
			09																
			10																
C3	汚泥の脱水施設	B23	11		汚泥0210	3,000	t	汚泥0210	1,000	t	建設資材として利用	1,000	t						
			12		汚泥0211	2,000	t												
			13								再掲								
			14																
			15																
C4	がれき類の破砕施設	B24	16		がれき類の1501	50,000	t	がれき類150	50,000	t	建設資材として利用	50,000	t						
			17		建設系混合物202	3000	t	がれき類150	1,000	t	建設資材として利用	1,000	t						
			18					木くず0810	1,200	t				○○燃料	□□県○○市	チップ化燃料	1,200	t	
			19					金属くず120	800	t	販売	800	t						
			20																
C5	管理型最終処分	B25	21	自	ばいじん1800	10	t												
			22		汚泥0221	5,000	t												
			23	自	木くず0810	800	t												
			24		自社の事業活動により生じた廃棄物														
			25																

※「種類」「処理後の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

様式-業D

記 入 例

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の処分実績　－　中間処理・最終処分業　－

令和６年度実

業者名　○○資源(株)

番号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類※1	委託者（排出事業者又は処分業者）※2						自社での処分方法			処分により生じた廃棄物の他社等での処分		
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所	受託量	単位	処分方法	施設番号（様式B）	処分場所	氏名又は名称	住所	処分内容
1	廃プラ0600			○○鉄鋼(株)	和歌山市	800.00	t	破砕	B21	△△市	○○資源	□□県○○市	燃料としてリサイクル
2	廃プラ0600			□□産業(株)	大阪府○○市	200.00	t	破砕	B21	△△市	××興産	△△県○○郡×町	埋立
3	廃プラ0606			△△建設	田辺市	500.00	t	破砕・焼却・管理型埋立	B21・B22・B91	△△市			
4	汚泥0210	業		○○処分興業	有田市	3,000.00	t	脱水（建設資材に利用）	B23	△△市			
5	汚泥0211			□□市第1下水処理場	○○市	200.00	t	脱水（建設資材に利用）	B23	△△市			
6	がれき類1501			××建設	□□市	2,500.00	t	破砕（建設資材に利用）	B24	□□市（移動式）			
7	がれき類1501			××組	○○市	2,500.00	t	破砕（建設資材として販売）	B24	□□市（移動式）			
8	建設系混合廃棄物2022			××建設	□□市	1,000.00	t	破砕・管理型埋立	B24・B91	□□市（移動式）・△△市			
9	建設系混合廃棄物2022			××組	○○市	2,000.00	t	破砕	B24	○○市（移動式）	××興産	△△県○○郡×町	埋立
10	汚泥0221			××組	××郡○○町	5,000.00	t	管理型埋立	B91	△△市			
11	木くず0810	自		(株)○○資源	××市	800.00	m3	管理型埋立	B91	△△市			
12													
13													
14													
15													

委託業者が処分業者

自社の事業活動により生じた廃棄物

※1「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。

※2 委託者の住所は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事等にあってはその現場の所在地を記入してください。（和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入してください。）

様式-業E

記 入 例　廃棄物・特別管理産業廃棄物の和歌山県外への運搬実績　－　収集運搬業　－

令和６年度実績

業者名　〇〇資源(株)

番号	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類※1	委託者（排出事業者又は処分業者）※2						運搬先及び運搬先の処分				
		委託者の区分	備考	氏名又は名称	住所	受託量	単位	許可番号	氏名又は名称	住所	処分方法（最終的な処分）	備考
1	廃プラ0600			〇〇工業(株)	海南市	200.00	t	12345678910	〇〇興業	××県××市	焼却・埋立	
2	廃プラ0600			〇〇自動車(株)	和歌山市	1.00	t	12345678910	〇〇興業	××県××市	破砕・燃料	
3	特定有害産廃7426			××電子	紀の川市	50.00	t	99345678910	□□処理興業	××県××市	焼却	
4	木くず0810	業		〇〇チップ(株)	海南市	100.00	m3	xx345678910	□□処理興業	××県××市	燃料化	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

委託者が処分業者

※1「産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類」は、別紙分類表のコードNo.及び分類名で記入してください。
※2 委託者の住所は、本社の所在地ではなく、その廃棄物が生じた事業所等の所在地又は建設工事等にあってはその現場の所在地を記入してください。（和歌山県内の場合は市町村名、和歌山県外の場合は都道府県名、市町村名を記入してください。）

６.その他(廃棄物の分類表、処理施設区分表、産業廃棄物の換算比重表)

産 業 廃 棄 物 の 分 類 表

※産業廃棄物の種類は、この表の**分類名**と**コードNo.** で記入してください。

●産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）

分類名	区分		コード
燃え殻	下記以外		0100
	焼却灰	下記以外	0110
		石炭灰	0111
		廃棄物焼却灰	0112
	廃カーボン・活性炭		0120
汚泥	下記以外		0200
	有機性汚泥	下記以外	0210
		下水汚泥	0211
	無機性汚泥	下記以外	0220
		建設汚泥	0221
		上水汚泥	0222
廃油	下記以外		0300
	一般廃油	下記以外	0310
		鉱物系廃油	0311
		動植物系廃油	0312
	廃溶剤		0320
	固形油		0330
	油泥		0340
廃酸	下記以外		0400
	写真定着廃液		0401
廃アルカリ	下記以外		0500
	写真現像液		0501
廃プラスチック類	下記以外		0600
	廃タイヤ		0601
	自動車用ﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾊﾞﾝﾊﾟｰ		0602
	廃農業用ビニール		0603
	プラスチック製廃容器包装		0604
	発泡スチロール		0605
	発泡ウレタン		0606
	発泡ポリスチレン		0607
	塩化ビニル製建設資材		0608
紙くず	下記以外		0700
	建設工事の紙	下記以外	0710
		ダンボール	0711
木くず	下記以外		0800
	建設工事の木	下記以外	0810
		伐採材・伐根材	0811
繊維くず	下記以外		0900
	建設工事の繊維くず		0910
動植物性残渣			1000
動物系固形不要物			4000
ゴムくず			1100
金属くず	下記以外		1200
	鉄くず		1210
	非鉄金属くず	下記以外	1220
		鉛製の管又は板	1221
		電線のくず	1222
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	下記以外		1300
	ガラスくず	下記以外	1310
		カレット	1311
		廃ブラウン管（側面部）	1312
		ガラス製廃容器包装	1313
		ロックウール	1314
		石綿（非飛散性）	1315
		グラスウール	1316
		岩綿吸音板	1317
	陶磁器くず	下記以外	1320
		コンクリートくず	1321
		廃石膏ボード	1322
		ALC（軽量気泡コンクリート）	1323
鉱さい	下記以外		1400
	スラグ		1401
がれき類	下記以外		1500
	コンクリート破片		1501
	アスコン破片		1502
動物の糞尿			1600
動物の死体			1700
ばいじん			1800
13号廃棄物			1900

●特別管理産業廃棄物

分類名	区分		コード
引火性廃油	下記以外		7000
	引火性廃油（有害）		7010
強酸	下記以外		7100
	強酸（有害）		7110
強アルカリ	下記以外		7200
	強アルカリ（有害）		7210
感染性廃棄物			7300
特定有害産業廃棄物	下記以外		7400
	PCB等	下記以外	7410
		廃PCB等	7411
		PCB汚染物	7412
		PCB処理物	7413
	廃水銀等（処分するために処理したものを含む）		7440
	廃石綿等（飛散性）		7421
	指定下水汚泥		7422
	鉱さい（有害）		7423
	燃え殻（有害）		7424
	廃油（有害）		7425
	汚泥（有害）		7426
	廃酸（有害）		7427
	廃アルカリ（有害）		7428
	ばいじん（有害）		7429
	13号廃棄物（有害）		7430

●不可分一体の産業廃棄物

分類名	区分		コード
建設系混合廃棄物	下記以外		2000
	安定型建設系混合廃棄物		2010
	管理型建設	下記以外	2020
		新築系混合廃棄物	2021
		解体系混合廃棄物	2022
安定型混合廃棄物			2100
管理型混合廃棄物			2200
シュレッターダスト			2300
石綿含有産業廃棄物	下記以外		2400
	建設混合廃棄物		2410
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器く		2420
	廃プラスチック類		2430
	がれき類		2440
	紙くず		2450
	木くず		2460
	繊維くず(天然繊維)		2470
廃自動車	下記以外		3000
	廃二輪車	下記以外	3010
		バイク	3011
		自転車	3012
廃電気機械器具	下記以外		3100
	廃パチンコ機・廃パチスロ機		3101
	プリント配線板		3102
	テレビジョン受信機		3103
	エアーコンディショナー		3104
	冷蔵庫		3105
	洗濯機		3106
	電子レンジ		3107
	パーソナルコンピューター		3108
	電話機		3109
	自動販売機		3110
	蛍光灯		3111
	冷凍庫		3112
廃電池類	下記以外		3500
	鉛蓄電池		3510
	乾電池		3520
複合材			3600

産業廃棄物処理施設区分表

廃棄物処理施設			施設区分コード
		基準処理能力	許可
中間処理施設	汚泥の脱水施設	10m3/日	01
	汚泥の乾燥施設(機械)	10m3/日	02
	汚泥の乾燥施設(天日)	100m3/日	03
	汚泥の焼却施設	5m^3/日，200kg/時，面積2m^2	04
	廃油の油水分離施設	10m^3/日	05
	廃油の焼却施設	1m^3/日，0.2t/時，面積2m^2	06
	廃酸・廃アルカリの中和施設	50m^3/日	07
	廃プラスチック類の破砕施設	5t/日	08
	廃プラスチック類の焼却施設	0.1t/時，面積2m^2	09
	その他の焼却施設	0.2t/時，面積2m^2	10
	がれき類の破砕施設	5t/日	11
	木くずの破砕施設	5t/日	12
	その他の処理施設		
	有害物質を含む汚泥のコンクリート固形化施設		21
	水銀を含む汚泥の焙焼施設		22
	シアン化合物の分解施設		23
	廃PCB等の焼却施設		24
	PCB汚染物の分解施設		25
	PCB汚染物の洗浄施設		26

上記の施設区分コードのうち、「許可」とあるのは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく産業廃棄物処理施設設置許可が必要な施設である。

産業廃棄物の換算比重

産業廃棄物の種類	換算比重(t/m^3)
燃え殻	1.14(0.8～1.8)
汚泥	1.10(0.8～1.8)
廃油	0.9
廃酸	1.25
廃アルカリ	1.13
廃プラスチック類	0.35(0.1～0.4)
紙くず	0.30(0.2～0.9)
木くず	0.55(0.3～1.0)
繊維くず	0.12
動植物性残さ	1.00(0.8～1.2)
ゴムくず	0.52
金属くず	1.13(0.4～1.7)
ガラスくず及び陶磁器くず	1.00(0.7～1.5)
鉱さい	1.93(0.9～2.1)
がれき類	1.48
ばいじん	1.26